



未来への
パスポート

自分で
考える

チカラ

は

学研教室は
子どもたちの未来へ向けた
無限の可能性を広げます

学研教室

学研教室は日本の未来を創る 新しい教育を目指します

小学校の新学習指導要領が2011年4月から実施され、
学校教育は大きく変わりつつあります。

新しい方向性は「ゆとり教育」でも「詰め込み教育」でもない
実社会で必要とされる「生きるチカラ」をはぐくむ教育。

ただ「ものを覚えること、計算が速くできること」が最優先されるのではなく、
「自分の頭で考え、創意工夫ができる、知恵がある」ことが
これからの社会を生きていく上でより必要になります。

学力という「思考力」を超越した、広い意味での「考えるチカラ」を
身につけることが期待されているのです。

それは、基礎の次に「考えるチカラ」ではなく、
「考えるチカラこそが、基礎」だと考えます。

学研教室は、幼児～小学生の時期に
「自分で考えるチカラ」をはぐくむことで、
未来へ向けた、無限の可能性を広げます。



自分で 考えるチカラは 未来へのパスポート

基礎力として「自分で考えるチカラ」を身につけていけば
社会に出て、たとえ困難な問題にぶつかっても
前向きに解決していくことができる。
学研教室は、子どもたちの
「自分で考えるチカラ」をはぐくみます。



では、なぜ

「考えるチカラ」が
「未来をひらくチカラ」に
つながるのでしょうか？

「考えるチカラ」は

学力の伸びしろを広げます

「なぜ、どうして、そうなの？」という疑問を常に持ちながら
学習を進めていくクセを身につけ、「自分で考えるチカラ」をはぐくむことで、
その後の学力の伸びが違ってきます。

集中力・根気強さなどの精神力を高めます

自分で考える時間をたっぷり与えることで、問題を解決していく集中力や、
あきらめずに挑戦する根気強さを養います。
これらは、人から教わるばかりでは身につけにくいものです。

生きていく上で必要な 表現力や解決力につながります

自分の意見をはっきりと言う、まわりの人たちと協力し、問題を解決する。
これからの時代は主体的な行動、自発的に考えることが求められます。

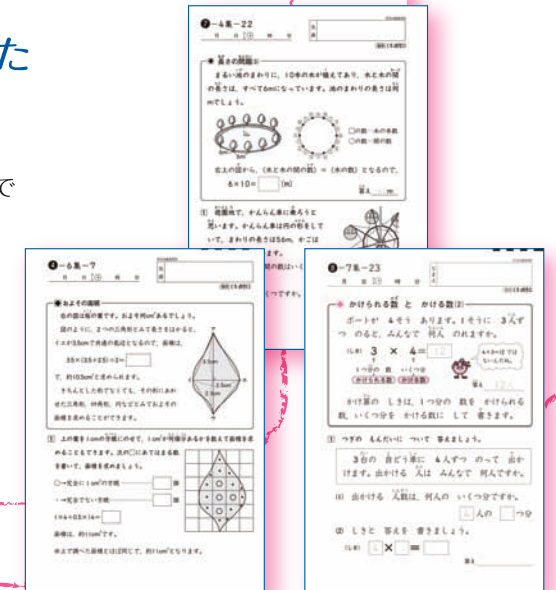
Answer

未来を創るシンキングメソッド



解答までのプロセスを重視した 自学自習の教材を使用します

学研教室の教材は、幼児から中学生レベルまで
学習指導要領で示された
学習内容で構成されています。
いきなり問題を解くのではなく、
「囲み」と呼ばれるガイドで例題を示し
解答までの道のりを理解させます。



先生は、答えを教えるのではなく、 自分で問題を解けるように 「考え方」を指導します

学研教室の先生は、「答え」ではなく「ヒント」を出す名人。
「わかる」ことに重きを置き、問題文の読み方、考え方の手順など
一斉授業ではむずかしい“学習の仕方”をお子さまの
理解度に合わせて個別に指導・確認をしていくので、
自分の頭で考え、自分の力で問題を解く
という習慣や態度が身につきます。

